

第4章 産業経済

第1節 農 林 業

1 農業委員会

本委員会は18人（定員19人）の農業委員で構成され、月1回（年12回）の定例総会を開催し、農地法の規定による届出書、許可申請書等の審査及び農業に関する諸問題を協議した。

また、22人（定員22人）の農地利用最適化推進委員が農地の集積、集約化の推進を図るため現場主導の委員として活動した。

このほか、広報活動として「農業委員会だより」を3回発行した。

(1) 主な委員会活動

ア 農地法にかかる許認可事務

イ 農業経営基盤強化促進法に基づく経営規模拡大のための農地利用集積の推進

ウ 農地法に基づく無断転用防止対策及び指導並びに遊休農地解消対策に基づく農地パトロールの実施

エ 農業者年金加入推進及び給付手続並びに受給者現況届出事務

(2) 農地法に関連した申請

項 目		件 数	面 積			
			田	畑	計	
農地法第3条	許 可	所 有 権 移 転	33 ^件	226.5 ^{アール}	350.2 ^{アール}	576.7 ^{アール}
		使用貸借・賃貸借権設定	5	10.4	182.1	192.5
		生前一括贈与				
第4条	届 出	37	60.5	130.1	190.6	
	許 可	8	37.1	2.4	39.5	
第5条	届 出	118	251.0	356.5	607.5	
	許 可	35	137.0	180.2	317.2	
小 計		236	722.5	1,201.5	1,924.0	

項 目	件 数	面 積		
		田	畑	計
計 画 変 更	件	アール	アール	アール
農業経営基盤強化促進法による計画申請	76	345.0	1,657.0	2,002.0
非農地現況証明	3		113.8	113.8
農地法第18条第6項の通知	1	12.9		12.9
買受適格者証明（競売）	8	13.0	4.7	17.7
相続税・贈与税の納税猶予制度にかかわる適格者証明	1	81.9	57.2	139.1
農地法関係証明	144	—	—	—
農地転用事実確認証明	5	—	—	—
国有農地管理事務取扱	18		28.5	28.5
小 計	256	452.8	1,861.2	2,314.0
合 計	492	1,175.3	3,062.7	4,238.0

(3) 農業者年金の状況（令和5年3月31日現在）

新農業者年金被保険者 14人

旧農業者年金被保険者 10人

農業者年金受給者 213人

2 農業振興事業

従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加などの厳しい環境の中で、農業振興を図るため、認定農業者制度や農地利用集積を推進し、意欲ある農家の育成に努めた。

また、農業経営体の収入の安定化を図るため、農業経営収入保険に加入する認定農業者に対し、保険料掛金の一部を補助した。

そして、産地の収益力強化を目的に、農業者等が実施する栽培施設の整備に係る費用について、産地生産基盤パワーアップ事業による補助を実施した。

さらに、学校給食への地場農産物導入、高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト、食育体験ツアーの実施により地産地消や食育を推進するとともに、地場農産物の消費拡大、認

知度向上を目的として新茶の茶摘み体験やお月見茶会等を実施した。

事業名	事業費	補助金	概要
中山間地域等直接支払制度実施事業	千円 17,494	千円 17,322	集落協定 9集落
地産地消総合推進事業	2,302	2,100	・食育体験ツアー ・高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト ほか
沼津の農産物振興事業	3,089	2,394	・沼津茶消費拡大推進事業 ・みかん品種転換促進事業 ほか

3 林業振興推進対策事業

森林の有する多面的機能が持続的に発揮される森林整備を推進した。

香貫山、千本松原、戸田生活環境保全林について機能維持、及び、市民の保健・文化・教育的な利用に供することを目的に保全管理業務を実施した。

また、戸田森林組合が実施する造林、間伐等林業事業に対し、補助を行った。

4 林道整備事業

森林資源の保全と林業振興を図るため、林道整備事業を実施した。

区分	事業費	概要
林道整備事業	千円 6,117	林道空洞線改良工事 17.6m ほか

5 松の材線虫防除事業

松の材線虫による被害の拡大を防止するため、松林の枯損木の除去、薬剤散布等を実施した。

事業費	35,669千円	
地上散布	千本松原ほか	延べ230.6ha
薬剤樹幹注入	千本浜公園ほか	2,950本
枯損木除去	54.3 m ³	

6 有害鳥獣等対策事業

野生鳥獣による農林業被害に対し、沼津市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、沼津市鳥獣被害対策実施隊による、実効性の高い被害防止対策を行った。

また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣防護柵等の設置に係る補助を行うとともに、狩猟免許の取得に係る補助を行った。

7 畜産振興事業

畜産業に起因する環境問題対策を推進するため、死亡獣畜処理事業及び畜舎一斉防除事業に対する補助を行ったほか、自衛防疫事業により、畜産物の安全性確保に努めた。

(1) 畜産業振興推進対策事業

事業名	事業主体	補助金	概要
死亡獣畜処理事業	畜産農家	137 ^{千円}	成子牛 7頭 牛 5頭
畜舎一斉防除事業	富士伊豆農業協同組合	198	受益農家数 8戸

(2) 自衛防疫事業

(単位 頭)

家畜種類	内容	実施数
牛	流行熱・イバラキ病混合予防注射	32
牛	異常産3種（アカバネ病含む）混合予防注射	32
牛	伝染性鼻気管炎6種混合予防注射	
牛	牛下痢5種混合予防注射	
牛	牛5種混合（不活化）予防注射	16
牛	牛3種混合（生）鼻腔内投与型予防注射	2
牛	牛アカバネ病予防注射	2
豚	日本脳炎・パルボ混合予防注射	10
計		94

第2節 土地改良事業

農業基盤整備により生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するため、国及び県の補助事業、市の単独事業等を実施した。

1 国・県補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
土地改良施設維持 管理適正化事業	ポンプ	8,503 ^{千円}	女鹿塚揚水機場ポンプ機器更新工事
耕作条件改善事業	農 道	12,518	施工延長 75.0m

2 市単独事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
改 良	浚 渫 農 道	14,960 ^{千円} 2,508	施工延長 525.0m 施工延長 19.0m
維 持 補 修	農 道 浚 渫 水 路 ポンプ その他	11,430 3,981 8,789 245 46	足高地内農道崩土撤去工事ほか 54件
工 事 材 料 支 給	農 道 水 路	9,504	生 コ ン 115.8 ^{m³} 砕 石 ・ R B 材 713.5 ^{m³} アスファルト合材 35.0 t ほか
そ の 他	そ の 他	15,480	委託、負担金、補助金 ほか

3 県 営 事 業

区 分	事 業 費	負担金等	概 要
県営経営体育成樹園地再編 整備事業	1,065,437	207,506	重須地区 西浦みかん（江梨、東部、 足保久料、立保古宇、江梨 西部）地区 浮島北部地区
ため池等整備事業	5,000	76	沼田新田地区
水利施設整備事業	268,000	34,160	大平徳倉排水機場、沼津西 部排水機場、松毛川排水機 場
地域用水環境整備事業	2,000	25	灰塚地区
県単独農業農村整備調査事業	4,000	2,000	西浦みかん区画整理地区

第3節 水産業

水産業の活性化と振興を図るため、出漁促進事業などへの補助、1次産品の販路拡大やブランド化に向けた取り組み、漁港施設の整備などを実施した。

1 水産業振興事業

(1) 水産業振興推進事業

事業名	事業主体	事業費	概要
漁業近代化資金 利子補給事業	東日本信用漁業協同組合連合会 (静岡支店)	千円 2,511	利子補給 27件
水産物流通 促進事業	沼津魚市場株式会社	4,311	水揚奨励
出漁促進事業	沼津魚市場株式会社 静岡浦漁業協同組合	15,485 602	出漁奨励

(2) 1次産品販路拡大戦略推進事業

本市1次産品の販路拡大とブランド化に向け、首都圏におけるテストマーケティングを行い、実需者や消費者ニーズを把握するための調査業務や、トップセールスによるPRを実施したほか、市内4漁協による山梨や長野での市内水産物の販売活動を支援した。

(3) 深海魚を活用した地域産業活性化事業

深海魚にスポットを当て、戸田地区のにぎわいや産業の回復を図るため、深海魚にまつわる有識者による講演「戸田深海魚大学」を開催したほか、Facebookの活用や、関係団体等と協調したイベントにより深海魚PRを行った。

2 漁港施設整備事業

(1) 県営漁港事業

事業名	事業費	負担金	概要
静浦漁港整備事業	千円 24,400	千円 6,800	水産物供給基盤機能保全事業 向畑防波堤長寿命化工事測量設計 業務委託 県単独事業 獅子浜荷捌施設用地嵩上工事
戸田漁港整備事業	110,000	22,000	水産物供給基盤機能保全事業 入浜防波堤長寿命化工事 大浦岸壁補修測量設計業務委託 地方創生港整備推進交付金事業 鬼川物揚場長寿命化工事

(2) 市営漁港事業

事業名	事業費	概要
漁港維持事業	千円 4,010	内浦漁港防波堤立入防止柵設置工事 ほか
市営漁港機能保全事業	19,758	小規模局部改良事業 西浦漁港江梨地先航路浚渫工事 西浦漁港堆積土砂撤去修繕工事 ほか

第 4 節 商 工 業

1 中小企業金融対策事業

中小企業の健全な育成に資するため、その事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関等に利子補給金を交付し、事業資金の融資の円滑化を図った。

制 度 名	利子補給額	年度中貸付実行		年度末貸付残高	
		件 数	金 額	件 数	金 額
小口資金利子補給	5,661,361 ^円	51 ^件	171,750,000 ^円	315 ^件	464,642,400 ^円
近代化資金等 利子補給	56,662			3	7,025,000
短期経営改善資金 利子補給	751,293	71	445,360,000	29	180,080,000
計	6,469,316	122	617,110,000	347	651,747,400

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給

沼津商工会議所又は沼津市商工会の推薦を受け、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を借り受けた市内小規模事業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 6件 補給額 76,846円

○開業パワーアップ支援資金等利子補給

静岡県が実施する開業パワーアップ支援資金又は日本政策金融公庫が実施する新創業融資制度による資金を借り受けた創業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 24件 補給額 687,150円

2 商工業振興事業

事業名	事業内容
まちなか賑わい創生事業	各種団体等が市街地エリアで行うイベント等の開催を支援した。
狩野川周辺にぎわい創出事業	「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」と連携し、上土町周辺の狩野川右岸階段堤の利用促進に向けた取り組みとして、「水辺のステージ」などのにぎわい事業や情報発信等を行った。
まちなか商業ブランディング推進事業	個店の魅力を高めるためのノウハウを学ぶ「リブランディング企画塾」を開催したほか、まちなかの商業PR冊子「NUMAZUまちの感触」を製作し、エリアの魅力向上と情報発信を図った。
伝統技能体験事業	大工、左官、板金などの伝統技能の披露及び子どもを対象としたものづくり体験を行った。
小学生科学ものづくり体験教室支援事業	小学生を対象に科学実験等の体験教室を行う「沼津市少年少女発明クラブ」の活動を支援した。
ニュービジネス創出事業	中小企業が「経営革新計画」に基づいて行う新技術や新サービス等の開発・販路開拓に要する経費の一部を支援した。
BCP策定支援事業	BCP（事業継続計画）を策定しようとする市内事業者に対し、沼津商工会議所が専門家派遣を行うための経費の一部を支援した。
地域商業機能複合化推進事業	商店街内店舗の余剰スペースを活用して新たなチャレンジショップを整備するとともに、入居するテナントの売れ行き等から消費者のニーズ分析等を行う取り組みを支援した。

3 起業創業支援事業

事業名	事業内容
中小企業支援センター運営事業	創業や経営改善のサポートを目的に専任のコーディネーターを配置し、指導や情報提供などを行う沼津地域中小企業支援センターの運営を支援した。
知的財産活用事業	企業の技術移転や特許活用を促すため、知財活用コーディネーターを配置し、知的財産権にかかる相談対応や情報提供を行う取り組みを支援した。
創業セミナー開催事業	起業を目指す人や創業して間もない人を対象としたターゲット別セミナーを開催し、起業者の増加と継続的な事業活動の活性化を図った。

4 企業立地促進事業

事業名	事業内容
企業立地促進事業費補助	一定規模以上の用地を取得して工場等を設置し、雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 1件 補助額 51,630,000円
中小企業設備投資促進事業費補助	建物の新增築と機械設備の導入を行い雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 2件 補助額 8,016,000円
ITオフィス等進出事業費補助	市内に新たに賃借によりITオフィス等を開設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 7件 補助額 6,405,000円
本社機能移転拡充促進事業費補助	市内に新たに本社機能（事務所、研究所、研修所）を新增設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 3件 補助額 7,150,000円

5 イーラde管理運営事業

イーラde（大手町地区再開発ビル）の市保有床（商業床・駐車場床）の財産運用収入を財源に、沼津駅周辺総合整備基金への繰出しや保有床の管理運営に係る経費等を負担した。

6 各種商工業団体補助金

(単位 千円)

交 付 件 名	交 付 先	金 額
沼津商工会議所運営費補助金	沼津商工会議所	6,840
沼津市商工会運営費補助金	沼津市商工会	5,130
沼津市商店街連盟運営費補助金	沼津市商店街連盟	2,078
沼津中小企業相談所運営費補助金	沼津商工会議所	2,078
沼津市物産振興協議会運営費補助金	沼津市物産振興協議会	1,350
そ の 他 の 補 助 金	4件	1,369

第5節 労働

1 技能功労者表彰

55歳以上で30年以上同一職業に従事し、現在も第一線で活躍している技能優秀かつ後進の育成など、功労顕著な技能者の第47回表彰を行った。

○表彰職種 鳶職ほか10職種

○被表彰者 15人

2 勤労者教育資金利子補給事業

勤労者の経済的負担を軽減するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた子弟の大学等への就学資金に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 434件

○補給額 2,651,765円

3 勤労者住宅建設資金利子補給事業

勤労者の住宅取得を支援するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた自家の新築及び増改築資金等に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 2,155件

○補給額 25,943,552円

4 勤労者育児支援資金利子補給事業

勤労者の育児支援をするため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた育児休業中の生活費、育児に必要な家具等の購入費用、出産にかかる費用、その他子育てに要する費用に対し、その利子を補給した。

○補給件数 80件

○補給額 511,467円

5 就職支援

市内企業の安定した雇用の確保と、市内外の求職者の市内企業への就労を促進するため、沼津しごと応援サイト「ぬまjob」の改修及び運営を行った。また、若年者や女性の就労支援とし

て、就労支援員による就職相談やアフターフォローによる早期離職防止など、伴走型支援を行うキャリアデザイン相談センターを設置したほか、若年求職者を対象とした、市内中小企業の参加による合同就職面接会を開催し、雇用のマッチングを図った。さらに、新しい働き方の拡大を図るため、ダイバーシティ経営セミナー等や多様な人材を対象とした合同就職面接会を開催するとともに、離職者等の再就職支援を行った。

6 奨学金返還支援

学生の市内企業への就職及び本市への定住を促進するため、市内中小企業に就職し、かつ市内に居住した勤労者に対し、日本学生支援機構の奨学金返還金の一部を補助した。

○補助件数 8件

○補助額 1,024,434円

第6節 にぎわい・観光

隣接県等を対象とした誘客キャンペーンや大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送に合わせたイベントの開催など、豊かな地域資源を活かした観光の振興等により、本市の魅力発信や活性化に努めた。

1 観光宣伝

広報ぬまづ、市ホームページ、SNS等による観光情報の提供、観光パンフレットの発行及び旅行雑誌、テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディアに加え、東京デスクの活用により、主に首都圏在住在勤者を対象に本市の魅力のアピールに努めた。また、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の前半のクライマックスに合わせてスペシャルトークショーを開催したほか、ゆかりの地である原・浮島地区において観光活性化プロジェクトチームとともに本市の歴史的資源を活用したPRを行った。

2 観光行事

「第75回沼津夏まつり・狩野川花火大会」を市、沼津商工会議所、沼津市商店街連盟、沼津市自治会連合会、NPO法人沼津観光協会の協調により、感染防止対策を徹底しつつ、7月30

日、31日に3年ぶりに開催した。

また、沼津御用邸記念公園において、花と音楽をテーマとした「沼津御用邸花と音楽の祭典2022」を開催し、11月3日から15日までの期間中、菊華展や和太鼓パフォーマンスなどを行い、皇室ゆかりの特別な空間で本市の魅力を発信した。

3 海水浴場

平沢、大瀬、御浜、井田の市内4か所の海水浴場を開設し、7月16日から8月31日までの47日間（大瀬、井田は7月16日から8月21日までの37日間）、監視所を設置し、水難事故防止と負傷者の救護に努めた。

4 観光施設

本市を訪れる観光客に観光地等の適切な情報を提供するため、観光案内板の設置を行った。

なお、本年度は市内レストスポットにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、トイレの洋式化工事を実施した。

また、「我入道の渡し船」は沼津我入道漁業協同組合が、「沼津港水門展望施設（びゅうお）」は東海ビル保善株式会社が、「戸田はかま滝オートキャンプ場」は戸田森林組合が、「くるら戸田」はクックランド&サン共同事業体が、それぞれ指定管理者として観光施設の管理運営を行った。

5 多目的展示イベント施設

プラサヴェルデ運営共同事業体が、指定管理者として多目的展示イベント施設（キラメッセぬまづ）の管理運営を行った。

6 コンベンションの誘致

国内外の各種コンベンションを誘致し、県東部地域の交流人口の拡大と地域経済や観光産業等の活性化を推進している静岡県東部地域コンベンションビューローの活動を支援した。

7 アスルクラロ沼津に対する支援

本市を拠点に活動するJ3所属のプロサッカーチームであるアスルクラロ沼津に対し、ホームタウンとして応援機運を醸成するため、沼津マッチの開催、オールブループロジェクトの実施のほか、Jリーライセンス維持のため愛鷹広域公園多目的競技場の照明改修費用の一部を

補助した。

8 フェンシングのまちづくり

フェンシングを通じてにぎわいのあるまちづくりを目指し、フェンシング交流拠点施設「F3 BASE」を拠点に、日本代表をはじめとした合宿受入れやシンボルフェンサーの育成、フェンシングの体験会などを行った。

「Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権2022」という冠をつけた全国大会を7月と9月に市内で開催した。

さらに、フェンシングの裾野拡大のため、スマートフェンシング指導者育成講習会や大人を対象とした体験会を開催したほか、地元企業所属の現役日本代表選手とともに学校訪問事業を実施した。また、フェンシングの種目やルール、用語などの基礎知識をイラストとともに解説するガイドブックを制作した。

9 サイクルツーリズムの推進

本市への更なるサイクリスト誘客のため、スポーツ自転車のレンタルを含むNUMAZUサイクルステーション静浦東の運営のほか、民間事業者と連携したイベント開催やプロモーション活動に取り組んだ。

また、コロナ禍で疲弊する地域の事業者支援及び市民の健康増進を目的に、サイクリングを活用した地域振興×健康増進キャンペーン「ぬまチャリ」を実施した。

10 近隣自治体との連携

(1) 狩野川周辺サイクル事業推進協議会

沼津市、伊豆市、伊豆の国市の3市で構成し、狩野川周辺のサイクリスト誘客に向けた利活用及び地域振興の推進に取り組んでいる。

本年度は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に、地域の歴史資源をめぐるサイクリングコースの造成や各種プロモーション素材の作成のほか、アプリを活用した周遊イベントを開催し、サイクリストをはじめとした交流人口の拡大などに取り組んだ。

(2) 県東部自治体との広域連携

県東部の20市町、民間企業、産業支援機関等で構成する静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会と連携し、スポーツイベント・合宿誘致活動などに取り組んだ。

また、富士市と連携し、両市のサイクルステーションを発着点とするサイクルツアーを企

画するなど、サイクル事業を軸にスポーツによるにぎわい創出を図った。

(3) 隣接県等への観光PR

山梨県など隣接県を対象とした誘客キャンペーンを実施したほか、山梨県南アルプス市や長野県上田市等と連携し、特産品の販売促進や観光PR等を行った。

11 プロスポーツとの連携

アスクラロ沼津のほか、連携協定を結ぶ東レアローズ男子バレーボール部、バルテックス静岡、レバンテフジ静岡と連携し、選手によるトップアスリート教室を実施した。

また、東レアローズ、バルテックス静岡については、令和5年3月に供用開始した香陵アリーナ（総合体育館）でのホームゲーム開催に協力し、交流人口の拡大及びそれを契機とした中心市街地の活性化を図った。